



SII Printer Setting Utility for Windows

取扱説明書

Rev.02

[対象製品]

SLP720RTシリーズ

SLP721RTシリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01	2022年	3月
Rev.02	2022年	10月

©セイコーインスツル株式会社 2022

無断転載を禁じます。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。

この取扱説明書を第三者に無断で頒布することを禁じます。

Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供する「SII Printer Setting Utility for Windows」（以降：本ソフトウェア）について説明します。

本書の表記

本書の表記について説明します。

操作と表示

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。

- Windows 10及びSLP720RTの画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

オペレーティングシステムの略称

本書で使用されているオペレーティングシステムの略称について記載します。
個別で説明する必要がある場合は、略称の後ろに記載した括弧書きの内容で説明します。

オペレーティングシステム	略称
Microsoft® Windows®の全般	Windows
Microsoft® Windows® 11	Windows 11
Microsoft® Windows® 11 IoT Enterprise	
Microsoft® Windows® 10	Windows 10
Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2019	Windows 10 (Windows Server 2019)
Microsoft® Windows Server® 2016	Windows 10 (Windows Server 2016)
Microsoft® Windows® 8.1	Windows 8.1
Microsoft® Windows® Embedded 8.1 Industry	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2	Windows 8.1 (Windows Server 2012 R2)

用語一覧

本書で使用する用語について下記の通りに定義します。

用語	内容
プリンター名	プリンターフォルダーに表示され、ユーザーが変更できるフレンドリ名
ドライバー名	プリンタードライバーを識別する固有のモデル名
プリンターフォルダー	下記の操作により表示されるフォルダー [コントロールパネル]⇒[ハードウェアとサウンド]⇒[デバイスとプリンター]の順に選択し、表示される[デバイスとプリンター]フォルダー
技術説明書	下記の技術説明書 ・ SLP720RTシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・ SLP721RTシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書
取扱説明書	下記の取扱説明書 ・ SLP720RTシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・ SLP721RTシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書
プリンターコマンド	「技術説明書」に記載されている、プリンターを制御するための命令
テスト印刷コマンド	本ソフトウェアにおいてテスト印刷を行う命令 [テスト印刷]画面の[コマンドリスト(L)]に入力するコマンド群
メモリスイッチ	「取扱説明書」に記載されている[機能設定]の機能
NVイメージ	プリンターのNVメモリ(不揮発性メモリ)に登録されたイメージデータ
IPD※1フォント	本ソフトウェア独自の下記のフォントの総称 ・ デバイスフォント: プリンターに搭載されているフォント ・ バーコードフォント: プリンターでバーコードを印刷するための特殊フォント ・ 2次元バーコードフォント: プリンターで2次元バーコードを印刷するための特殊フォント ・ コントロールフォント: あらかじめ登録されているプリンターコマンドを使用するための特殊フォント ・ コントロールAフォント: ユーザーが登録したプリンターコマンドを使用するための特殊フォント
メンテナンスカウンター	プリンターコマンドで取得できるメンテナンスカウンターの値
プリンターステータス	プリンターコマンド「自動ステータス送信の有効・無効」で取得できる応答 応答内容については「ステータスの一覧」を参照してください。
ドット	印字を構成する単位 SLP720RT/SLP721RTシリーズは8ドットで1mmのドット密度で印字

※1: Integrated Printer Driver

記号

本書で使用する記号について下記に記載します。

注意

- ◆ 注意事項や制限事項を記載しています。

参考

- 補足説明や関連事項を記載しています。

1章	概要	1-1
1.1	対象製品	1-1
1.2	動作条件	1-1
2章	インストール	2-1
3章	操作方法	3-1
3.1	起動	3-1
3.2	画面構成	3-3
3.2.1	ユーティリティパネル	3-3
3.2.2	ユーティリティ設定画面	3-3
3.3	機能	3-4
3.3.1	プリンター情報	3-4
3.3.2	メモリスイッチ	3-9
3.3.3	印刷ジョブ	3-11
3.3.4	テスト印刷	3-13
3.3.5	NVイメージ	3-22
3.3.6	コードページ	3-28
3.3.7	その他	3-35

1章 概要

本章では本ソフトウェアの概要について説明します。

本ソフトウェアはプリンタードライバーに付属し、プリンタードライバーを利用して動作します。

本ソフトウェアはプリンターの各種情報の確認及び設定を行うためのソフトウェアです。

1.1 対象製品

本ソフトウェアの対象製品について記載します。

プリンター	インターフェイス	プリンタードライバー
SLP720RTシリーズ SLP721RTシリーズ	USB	SLP720RT/SLP721RTシリーズ用 「SII Printer Driver for Windows」
	TCP/IP	

1.2 動作条件

本ソフトウェアの動作条件は、プリンタードライバーの動作環境、プリンターの設定及び制限事項に準じます。プリンタードライバーの動作環境などの詳細は、SLP720RT/SLP721RTシリーズ用「SII Printer Driver for Windows 取扱説明書」を参照してください。

2章 インストール

本ソフトウェアは、プリンタードライバーと同時にインストールされます。

プリンタードライバーのインストール手順については、SLP720RT/SLP721RTシリーズ用「SII Printer Driver for Windows 取扱説明書」に記載のインストール部分を参照してください。

3章 操作方法

本章では本ソフトウェアの操作方法について説明します。

3.1 起動

本ソフトウェアの起動手順を下記に説明します。

本ソフトウェアは、下記のいずれかの方法で起動してください。

スタートメニューまたはスタート画面から起動

• Windows 11の場合

1. スタートメニューから、[すべてのアプリ] – [Smart Label Printer RT Series] – [Printer Setting Utility]を選択してください。
2. インストールされているプリンタードライバーが1つの場合は、本ソフトウェアが起動します。
3. インストールされているプリンタードライバーが2つ以上の場合は、プリンター名のリストが表示されるので、対象のプリンター名を選択し、[実行]ボタンをクリックすると本ソフトウェアが起動します。

• Windows 10の場合

1. スタートメニューから、[Smart Label Printer RT Series] – [Printer Setting Utility]を選択してください。
2. インストールされているプリンタードライバーが1つの場合は、本ソフトウェアが起動します。
3. インストールされているプリンタードライバーが2つ以上の場合は、プリンター名のリストが表示されるので、対象のプリンター名を選択し、[実行]ボタンをクリックすると本ソフトウェアが起動します。

• Windows 8.1の場合

1. スタート画面のタイルメニュー左下に表示される下向きの矢印をクリックしてください。
2. [アプリ]ビューから、[Smart Label Printer RT Series] – [Printer Setting Utility]をクリックしてください。
3. インストールされているプリンタードライバーが1つの場合は、本ソフトウェアが起動します。
4. インストールされているプリンタードライバーが2つ以上の場合は、プリンター名のリストが表示されるので、対象のプリンター名を選択し、[実行]ボタンをクリックすると本ソフトウェアが起動します。

プリンターのプロパティから起動

1. [プリンターフォルダー]内に表示されているプリンターアイコンを右クリックしてサブメニューを表示してください。
2. 表示されたサブメニューから[プリンターのプロパティ(P)]を選択してください。
3. [プリンターのプロパティ]画面の[ユーティリティ]タブを選択し、下記の画面を表示してください。
[ユーティリティ]タブから各種ユーティリティボタンをクリックすると、本ソフトウェアが起動します。



図 3-1 [ユーティリティ]画面

注意

- ◆ 本ソフトウェア起動中は、[プリンターのプロパティ]画面は操作できません。

3.2 画面構成

本ソフトウェアの画面構成について説明します。

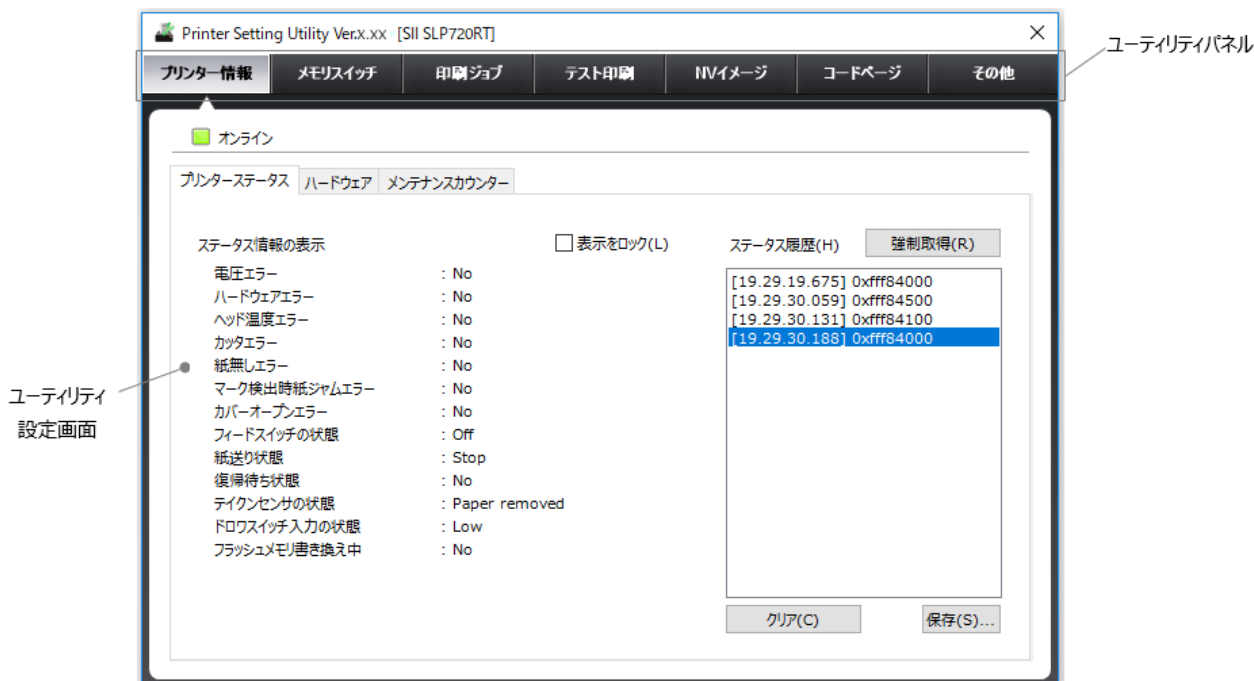


図 3-2 ユーティリティ設定画面

3.2.1 ユーティリティパネル

各機能をユーティリティパネルで表示します。各機能の名称をクリックすると、他の機能へ移動ができます。各機能の詳細は、「3.3 機能」を参照してください。

項目	説明
プリンター情報	プリンターの各種情報を表示します。
メモリスイッチ	メモリスイッチを設定します。
印刷ジョブ	ジョブ単位の印刷データ出力を設定します。
テスト印字	任意の内容でテスト印刷を実行します。
NVイメージ	ロゴまたはウォーターマークで使用するイメージデータの編集、登録、または登録されているNVイメージを管理します。
コードページ	文字コードテーブルのユーザーページにおけるフォントデータの編集、登録、または登録されているコードページを管理します。
その他	本ソフトウェアの設定内容をファイルにエクスポート、またはエクスポートしたファイルをインポートします。

3.2.2 ユーティリティ設定画面

各機能の情報表示または設定が行えます。各機能の詳細は、「3.3 機能」を参照してください。

3.3 機能

本ソフトウェアの機能について説明します。

3.3.1 プリンター情報

プリンターの各種情報を表示します。

「3.1 起動」の手順で本ソフトウェアを起動し、下記の画面を表示してください。



図 3-3 [プリンター情報]画面

項目	説明
接続状態	プリンターとの接続状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none">・オンライン(インジケータ: 緑色)・オフライン(インジケータ: 灰色)

プリンタステータスの表示

[プリンター情報]画面から[プリンタステータス]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 3-4 [プリンタステータス]画面

項目	説明
ステータス情報の表示	プリンタステータス情報を表示します。 ^{※1} [ステータス履歴(H)]で選択されているステータス情報を表示します。
表示をロック(L)	[ステータス履歴(H)]の選択状態を固定するか選択します。 ^{※2} チェックボックスがオフの場合 ・ [ステータス履歴(H)]で最新のプリンタステータスが常に選択状態となり、プリンタステータスが増えるたびに[ステータス履歴(H)]は自動的にスクロールします。 チェックボックスがオンの場合 ・ プリンタステータスが増えなくても[ステータス履歴(H)]の選択状態は変更されず、[ステータス履歴(H)]は自動的にスクロールされません。
ステータス履歴(H)	プリンタステータスのステータス情報をリスト表示します。 ・ 応答時間: [hh.mm.ss.fff] (時間: 00 ~ 23、分: 00 ~ 59、秒: 00.000 ~ 59.999) ・ 応答内容: プリンタステータスを16進数(32ビット)で表示 ^{※3※4}
クリア(C)	[ステータス履歴(H)]に表示されているステータス情報をすべてクリアします。 ^{※2}
強制取得(R)	プリンタコマンドを発行し、強制的にプリンタステータスを取得します。 ^{※5}
保存(S)...	[ステータス履歴(H)]の内容をテキストファイル(*.csv)として保存します。 ^{※2※6}

※1: プリンターから情報が取得できなかった場合は、状態を表示する部分が「 - 」で表示されます。

※2: [ステータス履歴(H)]が空白の場合は、操作できません。

※3: ステータスについての詳細は、「ステータスの一覧」を参照してください。

※4: [ステータス履歴(H)]内に表示可能な履歴の数は最大100件です。それ以降は古いものから削除されます。

※5: 取得したプリンタステータスが取得済みの最新のプリンタステータスと同じ場合は、表示は更新されません。

※6: 保存されるプリンタステータス履歴は[保存(S)...]ボタンをクリックした時点での[ステータス履歴(H)]の内容です。この時点より後のプリンタステータスの応答は保存するファイルに反映されません。

ステータスの一覧

[ステータス履歴(H)]で表示する16進数(32ビット)データ形式での応答内容の対応ビットは下記の通りです。

ステータス	対応ビット	内容
電圧エラー	0x00000001	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
ハードウェアエラー	0x00000002	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
ヘッド温度エラー	0x00000004	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
カッタエラー	0x00000008	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
紙無しエラー	0x00000010	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
マーク検出時紙ジャムエラー	0x00000040	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
カバーオープンエラー	0x00000080	0 : No (エラーなし) 1 : Yes (エラーあり)
フィードスイッチの状態	0x00000100	0 : Off 1 : On
紙送り状態	0x00000400	0 : Stop (停止) 1 : Operating (動作中)
復帰待ち状態	0x00000800	0 : No 1 : Yes (復帰待ち状態)
ティクンセンサーの状態	0x00002000	0 : 紙取り出し済み 1 : 紙取り出し待ち
ドロフスイッチ入力の状態※1	0x00008000	0 : Low 1 : High
フラッシュメモリ書き換え中	0x00010000	0 : No 1 : Yes (書き換え中)

※1: SLP721RTのみサポートします。
SLP720RTはLowに固定です。

取得できる応答値は上記の値を足し合わせた値です。
ただし、未接続または通信エラーの場合は、全ビットが0となります。

参考

- 記載のない応答内容は予約です。
- 未接続または通信エラーの場合は、それ以外のステータスの内容は無視されます。

ステータス履歴の保存

ステータス履歴をテキストファイルとして保存する手順について下記に説明します。

1. [プリンターステータス]画面の[保存(S)...]ボタンをクリックしてください。
2. [名前を付けて保存]ダイアログでファイルを保存する場所とファイル名を指定してください。
3. [名前を付けて保存]ダイアログの[保存(S)]ボタンをクリックしてください。

ハードウェアの表示

[プリンター情報]画面から[ハードウェア]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 3-5 [ハードウェア]画面

項目	説明
ハードウェア	プリンター本体から取得した下記ハードウェア情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none">・ファームウェアバージョン(メイン)・ファームウェアバージョン(ブート)・モデル名
再読込(R)	プリンターからハードウェア情報を再取得します。

メンテナンスカウンターの表示

[プリンター情報]画面から[メンテナンスカウンター]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 3-6 [メンテナンスカウンター]画面

項目	説明
メンテナンスカウンター	<p>メンテナンスカウンターの値を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙送り行数 ・サーマルヘッド通電回数 ・オートカット駆動回数 ・製品の駆動時間 ・紙送り行数(積算) ・サーマルヘッド通電回数(積算) ・オートカット駆動回数(積算) ・製品の駆動時間(積算)
再読込(R)	プリンターからメンテナンスカウンターの値を再取得します。

3.3.2 メモリスイッチ

メモリスイッチを設定します。
「ユーティリティパネル」の[メモリスイッチ]を選択し、下記の画面を表示してください。

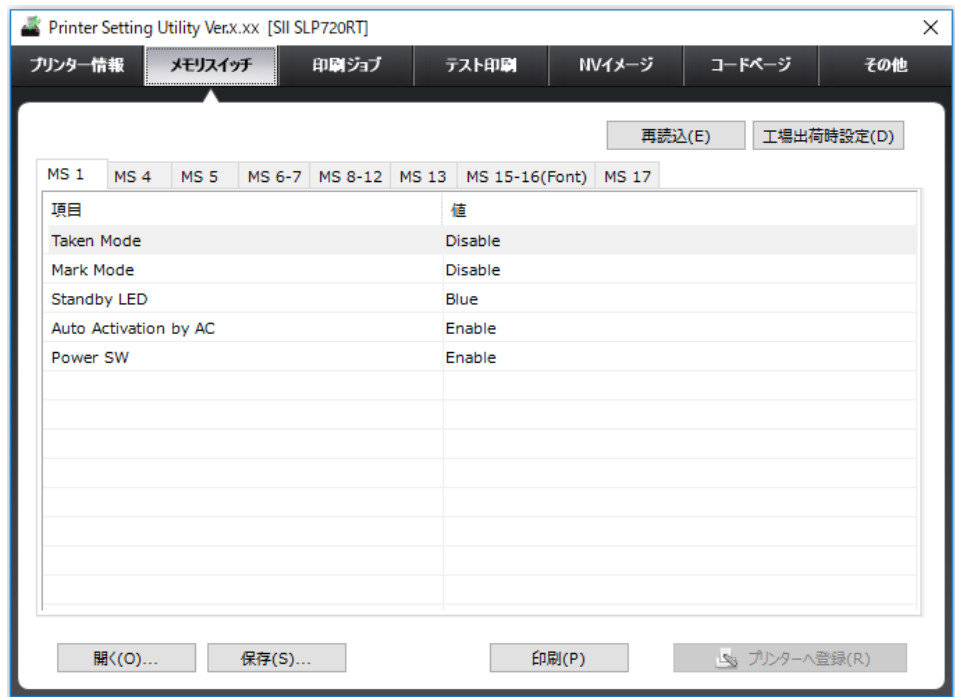


図 3-7 [メモリスイッチ]画面

注意

- ◆ メモリスイッチの[プリンターへ登録(R)]には、コンピューターへの管理者権限が必要です。

項目	説明
再読込(E)	プリンターの現在の設定内容を読み込んで、設定を表示します。 現在編集中的の設定内容は失われます。
工場出荷時設定(D)	工場出荷時の設定を表示します。現在編集中的の設定内容は失われます。 ^{※1} メモリスイッチの工場出荷時の値については、「取扱説明書」を参照してください。
[MS]タブ	メモリスイッチの表示項目を切り替えます。
項目	メモリスイッチ機能の項目名を表示します。
値	プリンターまたはメモリスイッチファイルから取得したメモリスイッチの値を表示します。 値を変更する場合は、ダブルクリックして編集モードにし、ドロップダウンから値を選択するかエディットボックスに値を入力してください。 ^{※2※3} 読み込んだ値を変更した場合、赤字で表示します。 メモリスイッチ起動時にプリンターから情報が取得できなかった場合、「 --- 」が表示され、編集はできません。

項目	説明
開く(O)...	保存したメモリスイッチファイル(*.sms)を読み込んで、設定を表示します。※1
保存(S)...	現在の画面上の設定内容をメモリスイッチファイル(*.sms)として保存します。※1
印刷(P)	プリンターの現在の設定内容を印刷します。※1
プリンターへ登録(R)	画面上の設定内容でプリンターの設定を変更します。※1※4

※1: プリンターから値を取得していない場合は、操作できません。

※2: [プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックするまでは、設定は反映されません。

※3: 範囲外の値は、自動的に範囲内に丸め込みされます。

※4: プリンターから取得した値から変更がない場合は、操作できません。

メモリスイッチ設定のプリンター登録

メモリスイッチの設定をプリンターに登録する手順について下記に説明します。

設定を変更する場合の登録手順

1. [MS]タブを切り替えて、設定を変更するメモリスイッチの項目を表示してください。
2. 設定を変更するメモリスイッチの値を選択、または入力してください。
3. [プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

メモリスイッチファイルから読み込む場合の登録手順

1. [メモリスイッチ]画面の[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログから、設定内容が保存されているメモリスイッチファイルを指定してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
4. [プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

工場出荷時の設定内容に戻す場合の登録手順

1. [工場出荷時設定(D)]ボタンをクリックしてください。
2. 確認画面が表示されますので[はい]ボタンをクリックしてください。
3. [プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

メモリスイッチ設定内容の保存

メモリスイッチの設定内容をメモリスイッチファイルとして保存する手順について下記に説明します。

1. [メモリスイッチ]画面の[保存(S)...]ボタンをクリックしてください。
2. [名前を付けて保存]ダイアログでメモリスイッチファイルを保存する場所とファイル名を指定してください。
3. [名前を付けて保存]ダイアログの[保存(S)]ボタンをクリックしてください。

3.3.3 印刷ジョブ

ジョブ単位の印刷データ出力を設定します。

「ユーティリティパネル」の[印刷ジョブ]を選択し、下記の画面を表示してください。

Printer Setting Utility Ver.x.xx [SII SLP720RT]

プリンター情報 メモリスイッチ **印刷ジョブ** テスト印刷 IVイメージ コードページ その他

印刷ジョブ出力(P) ☒ 有効 ☐ 無効

1日分 ▼

出力先

参照(B)...

適用(A)

図 3-8 [印刷ジョブ]画面

項目	説明 (“ ”: 初期値)
印刷ジョブ出力(P)	<p>印刷ジョブ情報の出力の有無を選択します。※¹</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効 <p>「有効」を選択した場合は、保存期間を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日分 ・ 3日分 ・ 10日分 ・ 30日分 ・ 90日分 <p>「有効」の場合は、印刷時にプリンターに送信したデータが、ジョブごとにファイルに保存されます。</p> <p>保存期間を過ぎた印刷ジョブ情報は、印刷ジョブ情報の出力時に消去されます。実際の保存期間は、最大一日分長くなる可能性があります。</p>

項目	説明 (“ ”: 初期値)
出力先※2※5※6	<p>印刷ジョブの出力先を設定します。</p> <p>印刷ジョブ情報を保存するフォルダーの作成場所を入力するか、[参照(R)...]ボタンから[フォルダーの参照]ダイアログで出力先を指定してください。※3</p> <p>印刷ジョブ情報は1ジョブ1ファイル、ファイル名はファイルが作成された時間<hhmm_ss(fff)>で、印刷ジョブファイル(*.prn)として保存されます。※4</p> <p>保存された印刷ジョブ情報は、日付ごとのフォルダー(フォルダー名<yyyyMMdd>)に保存されます。</p>
参照(R)...	印刷ジョブ情報を保存するフォルダーの作成場所を指定します。指定した内容は[出力先]に表示されます。※3
適用(A)	印刷ジョブの出力先を確定し、印刷ジョブ出力を開始します。

※1: プリンター共有環境で本機能を使用する場合は、クライアント側からの設定はできません。

※2: 印刷ジョブの書き込みにはフォルダーへの書き込み権限が必要です。

※3: [印刷ジョブ出力(P)]で「無効」を選択している場合は、操作できません。

※4: ファイル名及びフォルダー名に使用される記号の意味を下記に説明します。各値はWindowsのシステムクロックに由来します。

yyyy : 年

MM : 月

dd : 日

hh : 時

mm : 分

ss : 秒

fff : ミリ秒

※5: 複数ユーザーで同じフォルダーを使用する場合は、すべてのユーザーがアクセスできるフォルダーを指定してください。

※6: 設定できるパスの長さは最大260文字です。

印刷ジョブ出力の設定の変更

印刷ジョブ出力の設定を変更する手順について下記に説明します。

1. [印刷ジョブ出力(P)]で「有効」を選択し、保存期間を選択してください。
2. [出力先]に印刷ジョブ情報の出力先を入力してください。
3. [適用(A)]ボタンをクリックしてください。

3.3.4 テスト印刷

任意の内容でテスト印刷を実行します。

「ユーティリティパネル」の[テスト印刷]を選択し、下記の画面を表示してください。

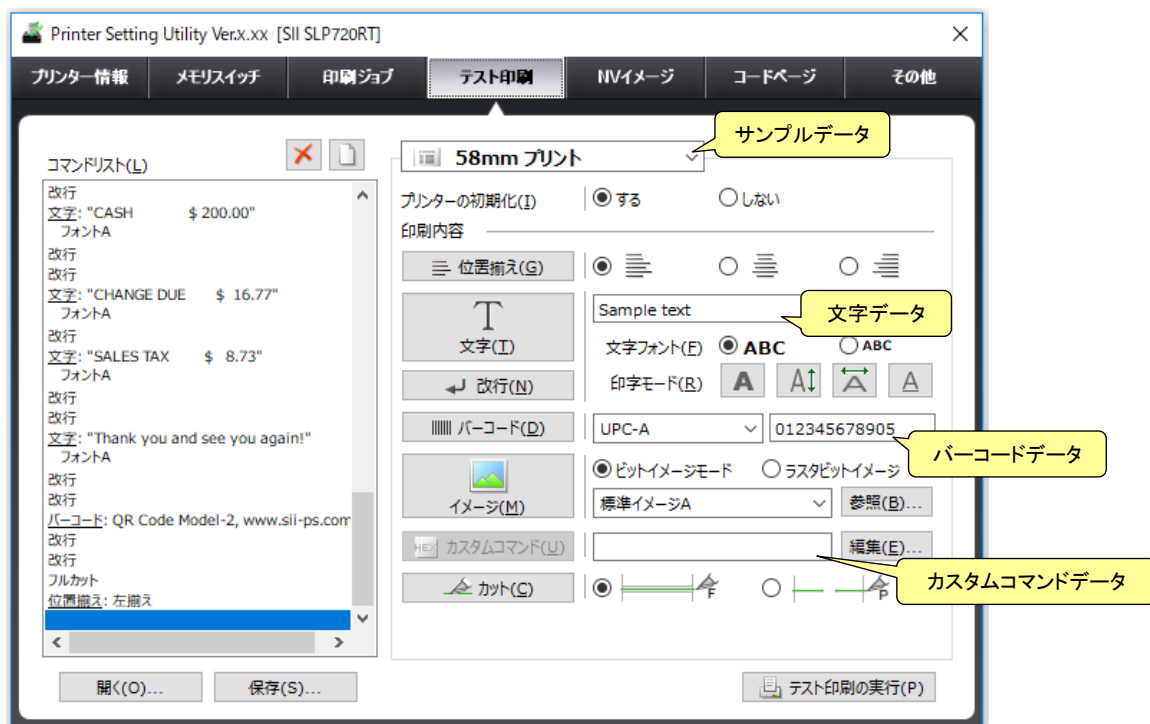
















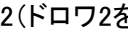
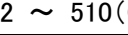


図 3-9 [テスト印刷]画面

項目	説明 (“ ”: 初期値)
コマンドリスト(L)	[サンプルデータ]から設定した内容やテスト印刷ファイルの内容をリストとして表示します。 [コマンドリスト(L)]は最大128行追加できます。 [コマンドリスト(L)]に追加されたテスト印刷コマンドは[テスト印刷の実行(P)]時にプリンターに送られます。※1
 削除	[コマンドリスト(L)]で選択中のテスト印刷コマンドを[コマンドリスト(L)]から削除します。※2 [コマンドリスト(L)]で末尾の空白行を選択している場合は、空白行のすぐ上の行のテスト印刷コマンドを削除します。
 新規作成	[コマンドリスト(L)]内のテスト印刷コマンドをすべてクリアします。※2
開く(O)...	保存したテスト印刷ファイル(*.stp)を指定して開き、その内容を[コマンドリスト(L)]に表示します。
保存(S)...	[コマンドリスト(L)]のテスト印刷コマンドをテスト印刷ファイル(*.stp)として保存します。
サンプルデータ	あらかじめ登録されているテスト印刷内容を[コマンドリスト(L)]に表示します。※3 <ul style="list-style-type: none"> 58mm プリント 40mm プリント バーコード カスタム

項目	説明 (“ ”: 初期値)
プリンターの初期化(I)	<p>テスト印刷の開始時に、プリンターコマンド「プリンターの初期化」による初期化の有無を選択します。※4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・  する ・  しない
印刷内容	テスト印刷の内容を設定します。
位置揃え(G)	<p>文字、バーコード及びイメージを印刷する位置を[コマンドリスト(L)]に追加します。 位置揃えの設定は、次に位置揃えのテスト印刷コマンドが挿入されるまで有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・  左揃え ・  中央揃え ・  右揃え
文字(T)	[文字フォント(F)]や[印字モード(R)]とともに、[文字データ]に入力された文字を一括して[コマンドリスト(L)]に追加します。※5※6※7※8
文字データ	<p>テスト印刷する文字列を入力します。 半角文字及び全角文字のいずれも64文字まで入力可能です。</p>
文字フォント(F)	<p>フォントのサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・  フォントA (24x12フォント) ・  フォントB (16x8フォント)
印字モード(R)	<p>印字モードを設定します。 各ボタンは、1回クリックするごとに「オン」「オフ」の設定が切り替えられます。 「オフ」のときは、テスト印刷コマンド追加時に[コマンドリスト(L)]へ表示しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・  強調印字 ・  縦倍角 ・  横倍角 ・  アンダーライン
改行(N)	<p>[改行]のテスト印刷コマンドを、[コマンドリスト(L)]に追加します。 [文字データ]に文字が入力されている場合は、[文字データ]、[文字フォント(F)]、[印字モード(R)]のテスト印刷コマンドの後に[改行]のテスト印刷コマンドを追加します。</p>

項目	説明 (“ ”: 初期値)
バーコード(D)	バーコードの種類と、[バーコードデータ]に入力されたデータを一括して[コマンドリスト(L)]に追加します。※9
バーコード種類	テスト印刷するバーコードの種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ UPC-A ・ UPC-E ・ JAN13 (EAN13) ・ JAN8 (EAN8) ・ CODE39 ・ ITF ・ CODABAR ・ CODE128※10 ・ CODE93※11 ・ JAN13 (EAN13) add-on 2 ・ JAN13 (EAN13) add-on 5 ・ GS1 Databar Omni-directional ・ GS1 Databar Truncated ・ GS1 Databar Limited ・ GS1 Databar Expanded ・ QR Code Model-2 ・ PDF417※12 ・ Data Matrix ・ Maxi Code※13 ・ GS1 Databar Stacked ・ GS1 Databar Stacked Omni-directional ・ GS1 Databar Expanded Stacked
バーコードデータ※14	バーコード印刷するデータを文字列で入力します。 入力可能文字数は最大64文字です。
イメージ(M)	[印刷方式]、[イメージ選択]の設定を一括して[コマンドリスト(L)]に追加します。
印刷方式	イメージの印刷に使用するプリンターコマンドの種類を選択します。※15 <ul style="list-style-type: none"> ・ ビットイメージモード ・ ラスタビットイメージ
イメージ選択	イメージの印刷に使用する画像データを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準イメージA ・ 標準イメージB ・ ユーザー指定イメージ コンボボックスで「ユーザー指定イメージ」を選択した場合は、自動的に[開く]ダイアログが開き、使用するイメージを指定できます。
参照(B)...	イメージの印刷に使用するユーザー指定イメージを[開く]ダイアログから指定します。イメージファイル(*.jpg、*.jpeg、*.bmp、*.png)が選択できます。※16

項目	説明 (“ ”: 初期値)
カスタムコマンド(U)	[カスタムコマンドデータ]に入力されたプリンターコマンドを[コマンドリスト(L)]に追加します。※17
カスタムコマンドデータ	カスタムコマンドを表示します。 入力には[編集(E)...]ボタンをクリックして表示されるバイナリエディターを使用します。
編集(E)...	バイナリエディターを使ってプリンターコマンドを16進数で入力します。 入力したプリンターコマンドは[カスタムコマンドデータ]に表示されます。 指定可能バイト数は最大64バイトです。 バイナリエディターについては、SLP720RT/SLP721RTシリーズ用「SII Printer Driver for Windows 取扱説明書」の「3.3.8 バイナリエディターの使用方法」を参照してください。
カット(C)	[カット種類]の設定を[コマンドリスト(L)]に追加します。
カット種類	カット方法を選択します。 <div>  フルカット </div> <div>  パーシャルカット </div>
ドロワ(U)※18	ドロワのテスト印刷コマンドを[コマンドリスト(L)]に追加します。
駆動ドロワ	駆動するドロワを選択します。 <div>  1(ドロワ1を駆動) </div> <div>  2(ドロワ2を駆動) </div>
ON時間 OFF時間	パルスのON時間、OFF時間を偶数値で入力します。(単位: ms) <div>  2 ~ 510 (ON時間: 50、OFF時間: 200) </div>
テスト印刷の実行(P)	[コマンドリスト(L)]上の全テスト印刷コマンドをプリンターに送信します。

※1: [コマンドリスト(L)]内の文字、バーコード、カスタムコマンドのテスト印刷コマンドをダブルクリックまたはスペースキーで選択すると、文字列、データが各項目のエディットボックスに入ります。

※2: [コマンドリスト(L)]が空白の場合は、操作できません。

※3: [サンプルデータ]に「カスタム」以外を選択している場合、下記の操作により[サンプルデータ]は「カスタム」に変更されます。

- ・ 表示されている[コマンドリスト(L)]の内容を変更した場合
- ・ [開く(O)]ボタンでテスト印刷ファイル(*.stp)を読み込んだ場合

※4: 「する」を選択した場合でも[コマンドリスト(L)]には表示されません。[テスト印刷の実行(P)]ボタン、[保存(S)...]ボタンをクリックした時の[プリンターの初期化(I)]の選択状態に従って、印刷データやテスト印刷ファイルの保存内容に反映されます。

※5: [文字データ]が空白の場合は、操作できません。

※6: 1行分の行バッファが文字データであふれる(1行フル印字)場合か、プリンターコマンド「印字改行」等で印字条件が成立した場合は、印刷を実行します。上記条件を満たさないデータをプリンターに送信しても印刷は実行されません。

※7: 漢字コード体系は、使用している言語環境によって異なります。

Windows OS	システムロケール	漢字コード体系
日本語	日本語(日本)	シフトJISコード
	日本語(日本)以外	JISコード
日本語以外	日本語(日本)	シフトJISコード
	日本語(日本)以外	JISコード

※8: 文字列のエンコードは、[印刷設定ダイアログ] - [フォント]タブの[デバイスフォント設定]の選択によって異なります。

[デバイスフォント設定]の「文字コードテーブル(C)」が[既定値]の場合は、文字列のエンコードは、システムで現在有効になっているANSIコードページで行われます。

[デバイスフォント設定]の「文字コードテーブル(C)」が[既定値]以外の場合は、文字列のエンコードは、[デバイスフォント設定]で選択しているコードページで行われます。コードページの詳細は、SLP720RT/SLP721RTシリーズ用「SII Printer Driver for Windows 取扱説明書」の「3.4.4 デバイスフォントの設定」を参照してください。

- ※9: [バーコードデータ]が空白の場合は、操作できません。また、プリンターに設定された印字幅を超えるバーコードは印刷できません。
- ※10: データの入力方法は2種類あります。入力方法については、以降の「1) CODE128を使用する場合」を参照してください。
- ※11: データの入力方法については、以降の「2) CODE93を使用する場合」を参照してください。
- ※12: 通常のPDF417固定です。
- ※13: Mode5固定です。
- ※14: バーコードフォントで使用するデータの入力方法とは異なります。入力するデータについては、「技術説明書」のプリンターコマンド「バーコードの印字」、「PDF417の印字」、「QR Codeの印字」、「Data Matrixの印字」、「MaxiCodeの印字(Mode5)」、「GS1 Databar Stackedの印字」、「GS1 Databar Stacked Omni-directionalの印字」、「GS1 Databar Expanded Stackedの印字」の説明に記載される入力データ[d]を文字列で入力してください。
- ※15: [イメージ選択]で「標準イメージB」を選択した場合は、[印刷方式]はラスタビットイメージ固定となります。
- ※16: [参照(B)...]ボタンをクリックし、イメージファイルを選択した場合は、[イメージ選択]は「ユーザー指定イメージ」に変更されます。
- ※17: [カスタムコマンドデータ]が空白の場合は、操作できません。
- ※18: SLP721RTのみサポートします。
ドロワの制御時間については、お客様がご利用されているドロワの仕様に従ってください。

[テスト印刷]の[バーコードデータ]への入力方法を下記に説明します。

・CODE128を使用する場合

入力方法は2種類あります。

1. 表 3-1 CODE128コードセット表を使用する方法

- ① 表 3-1 CODE128コードセット表の[Data]から、使用するコードセットのスタートコードを選択してください。そのスタートコードに対応する[ASCII文字]を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

例: コードセット「CODE A」を選択する場合

表 3-1 CODE128コードセット表の「START A」に対応する[ASCII文字]の'g'を文字入力します。

- ② バーコードとして印字したいデータを、①と同様に[Data]に対応する[ASCII文字]を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

入力できる[Data]の範囲は0x20～0x69です。

例: コードセット「CODE A」を選択していて、[Data]の'A'と印字したい場合

表 3-1 CODE128コードセット表で[Data]の'A'に対応する[ASCII文字]の'!'を文字入力します。

2. 表 3-1 CODE128コードセット表、表 3-2 CODE128特殊コード表を使用する方法

- ① 表 3-2 CODE128特殊コード表を参照し、[Data]のスタートコードに対応する[ASCII文字]を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

例: コードセット「CODE A」を選択する場合

表 3-2 CODE128特殊コード表[Data]の「START A」に対応する[ASCII文字]の"[A]"を文字入力します。

② 続けるデータはスタートコードによって入力方法が異なります。

● 「CODE A」及び「CODE B」の場合

表 3-1 CODE128コードセット表を参照し、[Data]に記載されている文字を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

例： [Data]の'A'としたい場合は、'A'を文字入力します。

入力できる[Data]の範囲は下記の通りです。

CODE A	表 3-1 CODE128コードセット表の[Code]0x00 ~ 0x3F
CODE B	表 3-1 CODE128コードセット表の[Code]0x00 ~ 0x5E

● 「CODE C」の場合

1.の②と同様に、表 3-1 CODE128コードセット表を参照し、[Data]に対応する[ASCII文字]を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

入力できる[Data]の範囲は0x20~0x69です。

例： [Data]の'65'としたい場合は、[ASCII文字]の'A'を文字入力します。

表 3-2 CODE128特殊コード表に対応するデータは、[Data]のスタートコードに対応する[ASCII文字]を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

例： [Data] - [CODE A]の「SHIFT」を入力する場合は、「S」を文字入力します。

表 3-1 CODE128コードセット表

Code	Data			ASCII 文字	Code	Data			ASCII 文字	Code	Data			ASCII 文字
	CODE A	CODE B	CODE C			CODE A	CODE B	CODE C			CODE A	CODE B	CODE C	
0x00	SP※1	SP※1	00		0x24	D	D	36	\$	0x48	BS	h	72	H
0x01	!	!	01		0x25	E	E	37	%	0x49	HT	i	73	I
0x02	"	"	02		0x26	F	F	38	&	0x4A	NL*	j	74	J
0x03	#	#	03		0x27	G	G	39	'	0x4B	VT	k	75	K
0x04	\$	\$	04		0x28	H	H	40	(0x4C	NP	l	76	L
0x05	%	%	05		0x29	I	I	41)	0x4D	CR	m	77	M
0x06	&	&	06		0x2A	J	J	42	*	0x4E	SO	n	78	N
0x07	'	'	07		0x2B	K	K	43	+	0x4F	SI	o	79	O
0x08	((08		0x2C	L	L	44	,	0x50	DLE	p	80	P
0x09))	09		0x2D	M	M	45	-	0x51	DC1	q	81	Q
0x0A	*	*	10		0x2E	N	N	46	.	0x52	DC2	r	82	R
0x0B	+	+	11		0x2F	O	O	47	/	0x53	DC3	s	83	S
0x0C	,	,	12		0x30	P	P	48	0	0x54	DC4	t	84	T
0x0D	-	-	13		0x31	Q	Q	49	1	0x55	NAK	u	85	U
0x0E	.	.	14		0x32	R	R	50	2	0x56	SYN	v	86	V
0x0F	/	/	15		0x33	S	S	51	3	0x57	ETB	w	87	W
0x10	0	0	16		0x34	T	T	52	4	0x58	CAN	x	88	X
0x11	1	1	17		0x35	U	U	53	5	0x59	EM	y	89	Y
0x12	2	2	18		0x36	V	V	54	6	0x5A	SUB	z	90	Z
0x13	3	3	19		0x37	W	W	55	7	0x5B	ESC	{	91	[
0x14	4	4	20		0x38	X	X	56	8	0x5C	FS		92	¥
0x15	5	5	21		0x39	Y	Y	57	9	0x5D	GS	}	93]

Code	Data			ASCII 文字	Code	Data			ASCII 文字	Code	Data			ASCII 文字
	CODE A	CODE B	CODE C			CODE A	CODE B	CODE C			CODE A	CODE B	CODE C	
0x16	6	6	22		0x3A	Z	Z	58	:	0x5E	RS	~	94	^
0x17	7	7	23		0x3B	[[59	;	0x5F	US	DEL	95	_
0x18	8	8	24		0x3C	¥	¥	60	<	0x60	FNC3	FNC3	96	`
0x19	9	9	25		0x3D]]	61	=	0x61	FNC2	FNC2	97	a
0x1A	:	:	26		0x3E	^	^	62	>	0x62	SHIFT	SHIFT	98	b
0x1B	;	;	27		0x3F	-	-	63	?	0x63	CODE C	CODE C	99	c
0x1C	<	<	28		0x40	NUL	`	64	@	0x64	CODE B	FNC4	CODE B	d
0x1D	=	=	29		0x41	SOH	a	65	A	0x65	FNC4	CODE A	CODE A	e
0x1E	>	>	30		0x42	STX	b	66	B	0x66	FNC1	FNC1	FNC1	f
0x1F	?	?	31		0x43	ETX	c	67	C					
0x20	@	@	32	SP※1	0x44	EOT	d	68	D	0x67	START A			g
0x21	A	A	33	!	0x45	ENQ	e	69	E	0x68	START B			h
0x22	B	B	34	”	0x46	ACK	f	70	F	0x69	START C			i
0x23	C	C	35	#	0x47	BEL	g	71	G					

※1: スペースを入力してください。

表 3-2 CODE128特殊コード表

Code	ASCII文字	Data		
		CODE A	CODE B	CODE C
0x7B53	{S	SHIFT	SHIFT	-
0x7B41	{A	START A	CODE A	CODE A
0x7B42	{B	CODE B	START B	CODE B
0x7B43	{C	CODE C	CODE C	START C
0x7B31	{1	FNC1	FNC1	FNC1
0x7B32	{2	FNC2	FNC2	
0x7B33	{3	FNC3	FNC3	
0x7B34	{4	FNC4	FNC4	
0x7B7B	{{		{	

・CODE93を使用する場合

バーコードとして印字したいデータを、表 3-3 CODE93コードセット表を参照し、[Data]に対応する[ASCII文字]を[バーコードデータ]へ文字入力してください。

入力できる[Data]の範囲は0x20～0x2Eです。

例: バーコードで'X'と印字したい場合表 3-3 CODE93コードセット表で'X'に対応する[ASCII文字]の'!'を文字入力します。

表 3-3 CODE93コードセット表

Code	Data	ASCII文字	Code	Data	ASCII文字	Code	Data	ASCII文字
0x00	0		0x10	G		0x20	W	SP※1
0x01	1		0x11	H		0x21	X	!
0x02	2		0x12	I		0x22	Y	"
0x03	3		0x13	J		0x23	Z	#
0x04	4		0x14	K		0x24	-	\$
0x05	5		0x15	L		0x25	.	%
0x06	6		0x16	M		0x26	SP	&
0x07	7		0x17	N		0x27	\$	'
0x08	8		0x18	O		0x28	/	(
0x09	9		0x19	P		0x29	+)
0x0A	A		0x1A	Q		0x2A	%	*
0x0B	B		0x1B	R		0x2B	[S1]	+
0x0C	C		0x1C	S		0x2C	[S2]	,
0x0D	D		0x1D	T		0x2D	[S3]	-
0x0E	E		0x1E	U		0x2E	[S4]	.
0x0F	F		0x1F	V				

※1: スペースを入力してください。



テスト印刷の実行

テスト印刷の実行手順について下記に説明します。

[サンプルデータ]を利用する場合の印刷手順

1. テスト印刷の内容を[サンプルデータ]から設定してください。
2. [テスト印刷の実行(P)]ボタンをクリックしてください。

テスト印刷コマンドを指定する場合の印刷手順(文字の印刷)

1.  [新規作成]ボタンをクリックしてください。
2. [プリンターの初期化(I)]で初期化の有無を選択してください。
3. ラジオボタンで左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかの印刷位置を選択し[位置揃え(G)]ボタンをクリックしてください。
4. [文字データ]に印刷する文字を入力してください。
5. [文字フォント(F)]、[印字モード(R)]を選択し[改行(N)]ボタンをクリックしてください。
6. 必要に応じて[バーコード(D)]や[カスタムコマンド(U)]等のテスト印刷コマンドを[コマンドリスト(L)]に追加してください。
7. 削除したいテスト印刷コマンド(テスト印刷コマンドの名称と設定値)がある場合は、[コマンドリスト(L)]で対象のテスト印刷コマンド行を選択し  [削除]ボタンをクリックしてください。
8. [テスト印刷の実行(P)]ボタンをクリックしてください。

テスト印刷ファイルから読み込む場合の印刷手順

1. [テスト印刷]画面の[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログからテスト印刷コマンドが保存されているテスト印刷ファイルを指定してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
4. [テスト印刷の実行(P)]ボタンをクリックしてください。

テスト印刷ファイルの保存

テスト印刷情報をテスト印刷ファイルとして保存する手順について下記に説明します。

1. [テスト印刷]画面の[保存(S)...]ボタンをクリックしてください。
2. [名前を付けて保存]ダイアログでテスト印刷ファイルを保存する場所とファイル名を指定してください。
3. [名前を付けて保存]ダイアログの[保存(S)]ボタンをクリックしてください。

3.3.5 NVイメージ

ロゴまたはウォーターマークで使用するイメージデータの編集、登録、または登録されているNVイメージを管理します。

「ユーティリティパネル」の[NVイメージ]を選択し、下記の画面を表示してください。

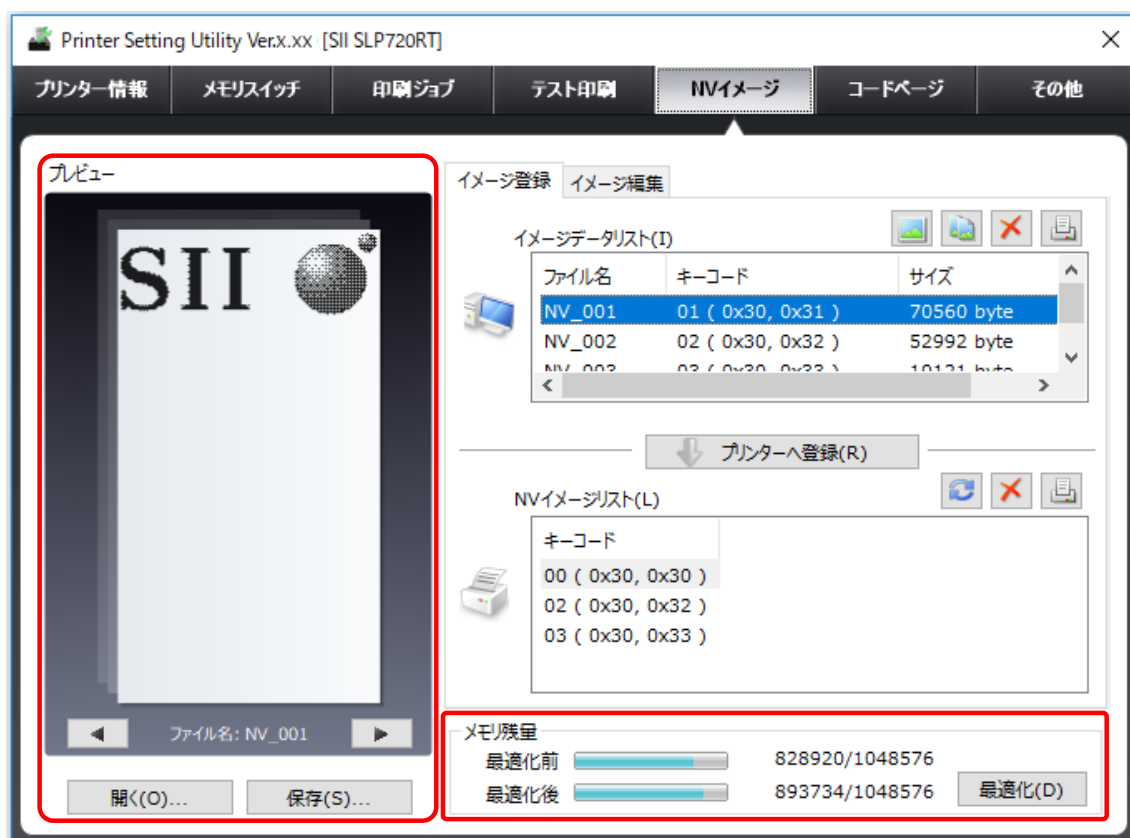





図 3-10 [NVイメージ]画面

注意

- ◆[イメージ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]にはコンピューターの管理者権限が必要です。
- ◆[NVイメージリスト(L)]の  (削除)にはコンピューターの管理者権限が必要です。

参考

- NVイメージとは、プリンターのNVメモリ(不揮発性メモリ)に登録されたイメージデータのことです。プリンターの電源を切ってもこのデータは保持されます。

項目	説明
プレビュー	[イメージデータリスト(I)]で選択中のイメージデータを表示します。
 前へ	[プレビュー]に表示するイメージデータを1つ前の画像に切り替えます。※1
 次へ	[プレビュー]に表示するイメージデータを次の画像に切り替えます。※1
ファイル名	[プレビュー]に表示中のイメージデータのファイル名を表示します。
開く(O)...	保存されているイメージデータファイル(*.snv)から、設定と画像を読み込んで表示します。
保存(S)...	[イメージデータリスト(I)]に追加されたイメージデータの設定と画像をイメージデータファイル(*.snv)として保存します。※2
メモリ残量	メモリの残量を表示します。 プリンター本体のメモリを再配置する最適化を行い、空きメモリ領域を確保します。
最適化前	最適化前のメモリ残量を表示します。
最適化後	最適化後のメモリ残量を表示します。
最適化(D)	最適化を実行します。

※1: [イメージデータリスト(I)]にイメージデータが2つ以上ある場合のみ操作できます。








※2: [イメージデータリスト(I)]にイメージデータがない場合は、操作できません。

イメージ登録の設定

[NVイメージ]画面から[イメージ登録]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 3-11 [イメージ登録]画面

項目	説明 (“ ”:初期値)
イメージデータリスト (I)	追加したイメージデータの一覧を表示します。 [イメージデータリスト(I)]に追加できるイメージデータは最大20個です。 [NVイメージ]画面起動時は前回終了時のものを復元します。
ファイル名	プリンターへ登録予定のイメージデータの管理用名称です。※1 [イメージデータリスト(I)]にイメージデータが追加される際に、自動的に名前が割り振られます。
キーコード	プリンターへイメージデータを登録する際に使用するイメージデータの番号です。 プリンター本体に登録のないキーコードが自動的に割り当てられます。割り当てられたキーコードを変更する場合は、[イメージデータリスト(I)]でイメージデータを選択し、エディットボックスにキーコードをASCII文字コードで入力してください。 ・ ” ” (0x20, 0x20) ~ ”99” (0x39, 0x39) (自動的に割り振られたキーコード)※2
サイズ	イメージデータのデータサイズを表示します。※1
 イメージデータを 開く...	イメージデータのファイルを指定して[イメージデータリスト(I)]に追加します。 イメージファイル(*.jpg、*.jpeg、*.bmp、*.png)が選択できます。※3
 イメージデータの 複製	[イメージデータリスト(I)]で選択中のイメージデータを複製し、別のファイル名を付けて[イメージデータリスト(I)]に追加します。※4
 イメージデータの 削除	[イメージデータリスト(I)]で選択中のイメージデータを[イメージデータリスト(I)]から削除します。※4
 イメージデータの 印刷	[イメージデータリスト(I)]で選択中のすべてのイメージデータを印刷します。※4
プリンターへ登録(R)	[イメージデータリスト(I)]で選択中のすべてのイメージデータをプリンターへ登録します。イメージデータの登録後は[メモリ残量]も更新します。 登録しようとしているイメージデータのキーコードがすでに登録済みの場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。※4
NVイメージリスト(L)	プリンターに登録済みのNVイメージの一覧を表示します。※5
キーコード	プリンターに登録済みのNVイメージのキーコードを表示します。
 再読込	プリンターに登録済みのNVイメージとメモリ残量を再取得します。
 削除	[NVイメージリスト(L)]で選択中のNVイメージをプリンターから削除します。※6 イメージの削除後は[メモリ残量]も更新されます。
 印刷	[NVイメージリスト(L)]で選択中のNVイメージを印刷します。※6

※1: 編集はできません。

※2: イメージデータを削除した場合は、そのイメージデータのキーコードは欠番になり自動的に割り振られません。ただし、キーコードが99まで使用された場合は、欠番のうち値が小さいものから順に番号が割り振られます。

※3: 指定したイメージデータのサイズは、読み込み時に58mm用紙幅(印字可能(ヘッド)幅:54mm)の幅にフィットするように変更されます。また、カラーの画像を指定した場合は、読み込み時にモノクロ画像

に変換されます。

読み込み可能なイメージファイルのピクセルあたりのビット数は24ビットまでです。

※4: [イメージデータリスト(L)]にイメージデータがない場合は、操作できません。

※5: NVイメージの情報がプリンターから取得できなかった場合は、リストの1行目に「 - 」が表示されます。

※6: [NVイメージリスト(L)]にNVイメージがない場合は、操作できません。

イメージ編集の設定

[NVイメージ]画面から[イメージ編集]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 3-12 [イメージ編集]画面

項目	説明 (“ ”: 初期値)
サイズ変更(E)	選択中のイメージデータを拡大・縮小します。※1
58mm用紙にフィット 40mm用紙にフィット 指定倍率	選択した用紙幅にフィットするようイメージデータのサイズを自動的に変更します。 [指定倍率]を選択すると[縦][横]でサイズを指定できます。
縦横比を固定	縦横比を固定してイメージデータのサイズを変更します。
横 縦	スライダーコントロールでサイズを設定します。※2※3 ・ 元画像の10 ~ 300% (dotの範囲は元画像のサイズにより異なります。 縦は最大8インチ(1624 dot)まで指定できます。)
% dot	選択中のイメージデータの縮尺率(%), 及びdotでの換算値を表示します。
回転(R)	選択された方向及び角度でイメージデータを回転させます。※1 ・ なし ・ 右に90度 ・ 180度 ・ 左に90度 [指定倍率]以外の設定が選択されていて、回転により現在の縦横の値が変わる場合は、自動的に[指定倍率]に変更されます。

項目	説明 (“ ”: 初期値)
ディザリング(H)	ディザリングのパターンを選択します。※ ¹ <ul style="list-style-type: none"> ・ 2x2 ・ 4x4 ・ 6x6 ・ 8x8 ・ 誤差拡散
明るさ(L)	イメージデータの明るさを設定します。※ ¹ ※ ³ <ul style="list-style-type: none"> ・ -100 ~ 100 (0)
コントラスト(C)	イメージデータのコントラストを設定します。※ ¹ ※ ³ <ul style="list-style-type: none"> ・ -100 ~ 100 (0) -100に設定した場合は、画像全面が均一なパターンになります。
印刷(P)	編集中のイメージデータを印刷します。※ ¹

※¹: [イメージデータリスト(I)]にイメージデータがない場合は、操作できません。


※²: [縦横比を固定]のチェックボックスがオンの場合は、[縦]のスライダーは操作できません。

※³: マウスでスライダーを操作した場合は、マウスの左ボタンを離すタイミングで設定が[プレビュー]に反映されます。キーボードでのスライダー操作及び左右送りボタンで操作した場合は、1回のクリックごとに設定が[プレビュー]に反映されます。


NVイメージの登録

NVイメージを登録する手順について下記に説明します。

イメージデータのファイルを指定する場合の登録手順

1. [イメージ登録]タブの  [イメージデータを開く...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログから登録するイメージデータのファイルを指定してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
4. 追加されたイメージを[イメージデータリスト(I)]で選択してください。
5. [イメージ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

イメージデータを複製する場合の登録手順

1. [イメージデータリスト(I)]で複製するイメージを選択し、[イメージ登録]タブの  [イメージデータの複製]ボタンをクリックしてください。
2. 複製されたイメージデータを[イメージデータリスト(I)]で選択してください。
3. [イメージ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

イメージデータファイルから設定と画像を読み込む場合の登録手順

1. [NVイメージ]画面の[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログから、イメージデータの設定と画像が保存されているイメージデータファイルを指定してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
4. 読み込まれたイメージデータを[イメージデータリスト(I)]で選択してください。
5. [イメージ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

イメージデータの編集

イメージデータを編集する手順について下記に説明します。

1. [イメージ登録]タブの[イメージデータリスト(I)]から編集するイメージデータを選択してください。
2. [イメージ編集]タブを選択してください。
3. [イメージ編集]タブで、サイズやイメージデータの回転、明るさ等を変更してください。

イメージデータの設定と画像の保存

イメージデータ設定と画像をファイルに保存する手順について下記に説明します。

1. [NVイメージ]画面の[保存(S)...]ボタンをクリックしてください。
2. [名前を付けて保存]ダイアログでイメージデータファイルを保存する場所とファイル名を指定してください。
3. [名前を付けて保存]ダイアログの[保存(S)]ボタンをクリックしてください。

3.3.6 コードページ

文字コードテーブルのユーザーページにおけるフォントデータの編集、登録、または登録されているコードページを管理します。

「ユーティリティパネル」の[コードページ]を選択し、下記の画面を表示してください。

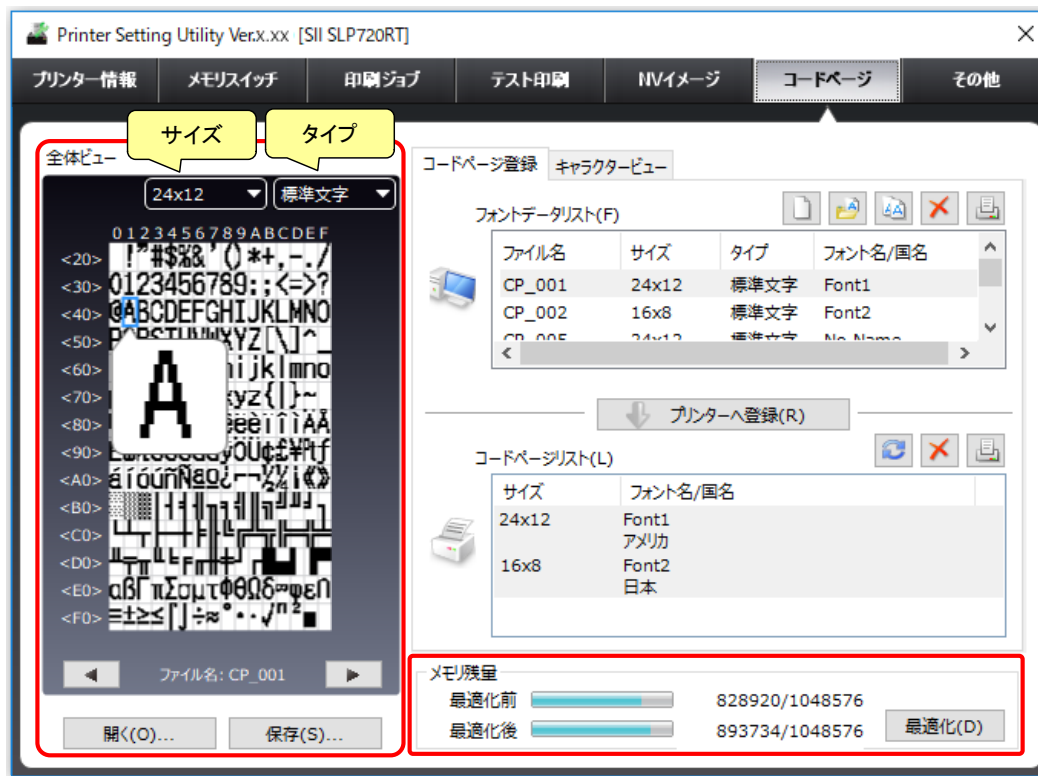





図 3-13 [コードページ]画面

注意

- ◆[コードページ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]にはコンピューターの管理者権限が必要です。
- ◆[コードページリスト(L)]の  (削除)にはコンピューターの管理者権限が必要です。

参考

- コードページ
コードページとは、各言語別にまとめられたデバイスフォントとして使用する文字セットです。

項目	説明 (“ ”:初期値)
全体ビュー	[フォントデータリスト(F)]で選択中のフォントデータを表示します。 マウスオーバーすると枠内のフォントの拡大イメージを表示します。 選択中の画像の[サイズ]及び[タイプ]により[全体ビュー]の表示状態は変化します。
サイズ	[フォントデータリスト(F)]で選択中のフォントデータのサイズを表示、選択します。 ・ 24x12 ・ 16x8 設定を変更すると[全体ビュー][キャラクタービュー][フォントデータリスト(F)]に変更が反映されます。
タイプ	[フォントデータリスト(F)]で選択中のフォントデータのタイプを表示、選択します。 ・ 標準文字 ・ 国際文字 設定を変更すると[全体ビュー][フォントデータリスト(F)]に変更が反映されます。
 前へ	[全体ビュー]に表示するフォントデータを1つ前のページに切り替えます。 ※1
 次へ	[全体ビュー]に表示するフォントデータを次のページに切り替えます。※1
ファイル名	[全体ビュー]に表示中のフォントデータのファイル名を表示します。
開く(O)...	保存されているフォントデータファイル(*.scp)を読み込んで表示します。
保存(S)...	[フォントデータリスト(F)]に追加されたフォントデータの設定と画像を、フォントデータファイル(*.scp)として保存します。※2
メモリ残量	メモリの残量を表示します。 プリンター本体のメモリを再配置する最適化を行い、空きメモリ領域を確保します。
最適化前	最適化前のメモリ残量を表示します。
最適化後	最適化後のメモリ残量を表示します。
最適化(D)	最適化を実行します。

※1: [フォントデータリスト(F)]にフォントデータが2つ以上ある場合のみ操作できます。

※2: [フォントデータリスト(F)]にフォントデータがない場合は、操作できません。

コードページ登録の設定

[コードページ]画面から[コードページ登録]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

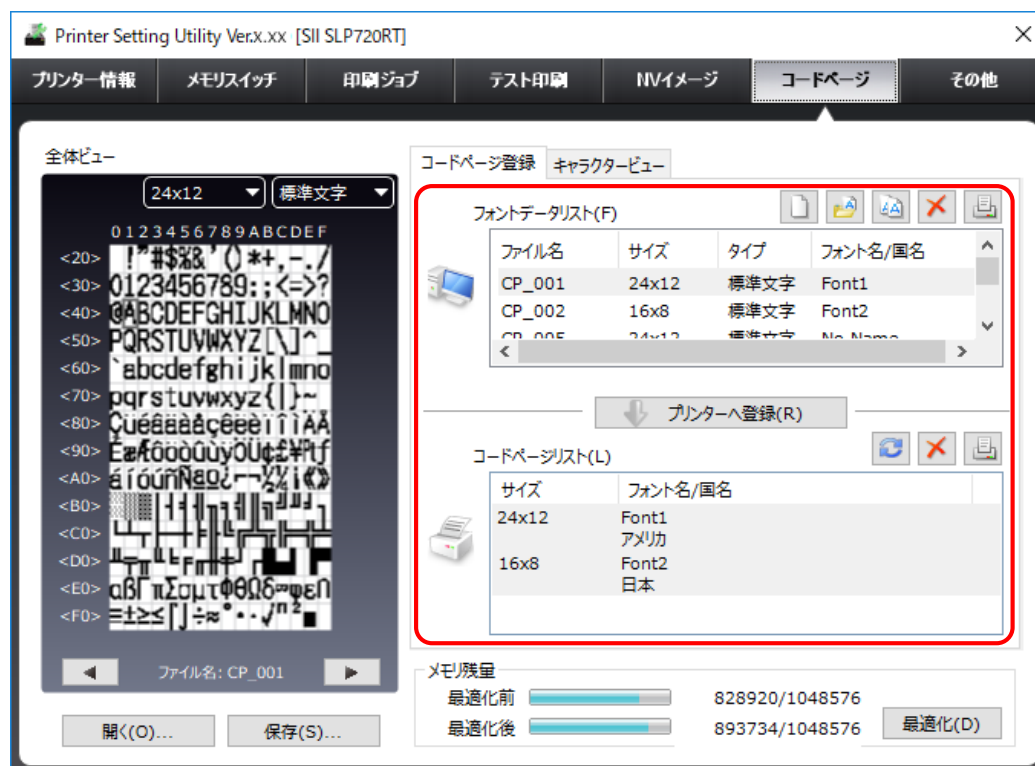










図 3-14 [コードページ登録]画面

項目	説明 (“ ”: 初期値)
フォントデータリスト(F)	プロジェクトに追加したフォントデータの一覧を表示します。 [フォントデータリスト(F)]に追加できるフォントデータは最大60個です。 [コードページ]画面の起動時は前回終了時のものを復元します。 [フォントデータリスト(F)]ではフォントデータの複数選択はできません。
ファイル名	プリンターへ登録予定のフォントデータの管理用名称です。 ^{※1} [フォントデータリスト(F)]にフォントデータが追加される際に、自動的に名前が割り振られます。
サイズ	フォントデータのサイズを選択します。 ・ 24x12 ・ 16x8 設定を変更すると[全体ビュー][キャラクタービュー]に変更が反映されます。
タイプ	コードページのタイプを選択します。 ・ 標準文字 ・ 国際文字 設定を変更すると[全体ビュー]に変更が反映されます。

項目	説明 (“ ”: 初期値)
フォント名/国名	<p>[タイプ]が「標準文字」の場合は、フォント名を半角英数記号で入力します。入力可能文字数は最大64文字です。</p> <p>[タイプ]が「国際文字」の場合は、国名を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ(USA) ・ フランス(France) ・ ドイツ(Germany) ・ イギリス(United Kingdom) ・ デンマーク I (Denmark I) ・ スウェーデン(Sweden) ・ イタリア(Italy) ・ スペイン I (Spain I) ・ 日本(Japan) ・ ノルウェー(Norway) ・ デンマーク II (Denmark II) ・ スペイン II (Spain II) ・ ラテンアメリカ(Latin America) ・ アラビア(Arabia)
 フォントデータの 新規作成	フォントデータを新規に作成します。 全体ビューの表示がクリアされて白紙状態になり[フォントデータリスト(F)]に新しいファイル名のフォントデータが追加されます。
 フォントデータを 開く...	フォントデータのファイルを指定して[フォントデータリスト(F)]に追加します。 横16文字×縦14文字の*.bmp、*.binが選択できます。※2
 フォントデータの 複製	[フォントデータリスト(F)]で選択中のフォントデータを複製し、別のファイル名を付けて[フォントデータリスト(F)]に追加します。※3 サイズ、タイプ、フォント名/国名も複製されます。
 フォントデータの 削除	[フォントデータリスト(F)]で選択中のフォントデータを削除します。※3
 フォントデータの 印刷	[フォントデータリスト(F)]で選択中のフォントデータを印刷します。※3
プリンターへ登録(R)	[フォントデータリスト(F)]で選択中のコードページをプリンターへ登録します。※4 登録しようとしているコードページがすでに登録済みの場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。 コードページの登録後は[メモリ残量]も更新されます。
コードページリスト(L)	プリンターに登録済みのコードページを表示します。 「標準文字」の場合は、サイズ、フォント名を表示し、「国際文字」の場合は、サイズ、国名を表示します。
サイズ	プリンターに登録済みのコードページのサイズを表示します。
フォント名/国名	プリンターに登録済みのコードページのフォント名、及び国名を表示します。
 再読込	プリンターに登録されているコードページとメモリ残量を再取得します。

項目	説明 (“ ”:初期値)
 削除	[コードページリスト(L)]で選択中のコードページをプリンターから削除します。※5 コードページの削除後は[メモリ残量]も更新されます。
 印刷	[コードページリスト(L)]で選択中のコードページを印刷します。※5

※1: 編集はできません。

※2: 読み込んだフォントデータのファイルがバイナリ形式の場合は、サイズ、タイプを判別して[フォントデータリスト(F)]に反映されます。

読み込んだフォントデータのファイルがBMPファイルでカラーまたはグレースケール画像の場合は、読み込み時に白黒2値化されます。

読み込んだフォントデータが*.bin形式であり、かつフォントデータのサイズが異なる場合は、不足する分は空白表示となります。サイズより大きい部分は読み捨てられ表示されません。

※3: [フォントデータリスト(F)]にフォントデータがない場合は、操作できません。

※4: 国際文字を登録する場合は、同じサイズの標準文字を先に登録してください。

※5: [コードページリスト(L)]にコードページがない場合は、操作できません。

[キャラクタービュー]によるフォントデータの編集

[コードページ]画面から[キャラクタービュー]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

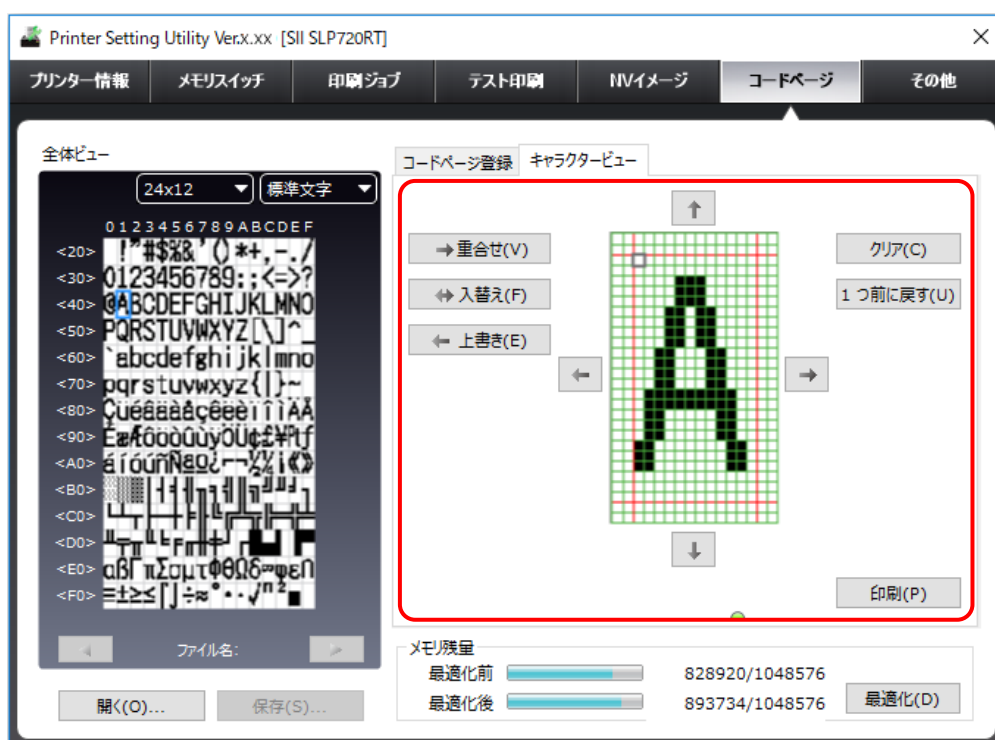



図 3-15 [キャラクタービュー]画面

項目	説明
キャラクタービュー	全体ビューに表示したフォントデータについて、文字ごとに編集できます。 白塗りのマスの上でマウスクリック(左クリック)またはスペースキーを押下すると黒塗りになり、マウスクリックしたままドラッグすると線を引くことができます。 黒塗りのマスの上で右クリックまたはDeleteキーを押下すると白塗りになり、右クリックのままドラッグすると連続して白塗りにできます。

項目	説明
重合せ(V)	[全体ビュー]で選択中の文字を[キャラクタービュー]に重ね合わせます。※ ¹ すでに[キャラクタービュー]にデータが入っている場合でも画像は消去せずに画像を重ねます。
入替え(F)	[全体ビュー]で選択中の文字と[キャラクタービュー]にある文字を入れ替えます。※ ¹ ※ ²
上書き(E)	[キャラクタービュー]に表示している文字を、[全体ビュー]で選択中の文字に上書きします。※ ¹ ※ ² ボタンをクリックすると[キャラクタービュー]内のイメージはクリアされます。
	[キャラクタービュー]に表示している文字を、1回クリックするごとに1ドットずつクリックされたボタンの方向へシフトさせます。 [キャラクタービュー]からはみ出したデータは保持されません。
クリア(C)	[キャラクタービュー]内の描画をすべてクリアし、白紙状態にします。※ ³
1つ前に戻す(U)	[キャラクタービュー]内の状態を1つ前の状態に戻します。 1回のみ有効です。
印刷(P)	[キャラクタービュー]の内容を印刷します。※ ³

※1: [コードページ登録]タブの[フォントデータリスト(F)]にフォントデータがない場合や、国際文字の編集不可の場所を選択している場合は、操作できません。


※2: [キャラクタービュー]内の赤線より外側は[全体ビュー]には反映されません。

※3: [キャラクタービュー]に何も描画されていない場合は、操作できません。


コードページの登録

コードページを登録する手順について下記に説明します。

フォントデータを新規作成する場合の登録手順

1. [コードページ登録]タブの  [フォントデータの新規作成]ボタンをクリックしてください。
2. [フォントデータリスト(F)]に追加された新しいファイルの[サイズ]、[タイプ]、[フォント名/国名]を入力してください。
3. [キャラクタービュー]タブを選択し、各アドレスの文字を編集してください。
4. [コードページ登録]タブを選択し、[フォントデータリスト(F)]から文字を編集したファイルを選択してください。
5. [コードページ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

フォントデータのファイルを指定する場合の登録手順

1.  [フォントデータを開く...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログで登録するフォントデータのファイルを指定してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
4. [フォントデータリスト(F)]に追加されたファイルの[サイズ]、[タイプ]、[フォント名/国名]を入力してください。(フォントデータのファイルがバイナリデータの場合は、データ量でサイズとタイプが自動判別されます。)
5. [コードページ登録]タブの[フォントデータリスト(F)]から追加されたファイルを選択してください。
6. [コードページ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

フォントデータファイルの設定と画像を読み込む場合の登録手順

1. [コードページ]画面の[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログから保存されているフォントデータファイルを指定してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)...]ボタンをクリックしてください。
4. [コードページ登録]タブの[フォントデータリスト(F)]から読み込まれたファイルを選択してください。
5. [コードページ登録]タブの[プリンターへ登録(R)]ボタンをクリックしてください。

フォントデータの編集

フォントデータを編集する手順について下記に説明します。

1. [コードページ登録]タブの[フォントデータリスト(F)]から編集するフォントデータを選択してください。
2. [キャラクタービュー]タブを選択してください。
3. [全体ビュー]から編集する文字を選択してください。
4. [重合せ(V)]ボタンをクリックしてください。
5. 選択した文字を[キャラクタービュー]タブで編集してください。
6. 編集した文字を登録する位置を[全体ビュー]で設定してください。
7. [上書き(E)]ボタンをクリックしてください。

フォントデータの設定と画像の保存

コードページ設定と画像をフォントデータファイルとして保存する手順について下記に説明します。

1. [コードページ]画面の[保存(S)...]ボタンをクリックしてください。
2. [名前を付けて保存]ダイアログでフォントデータファイルを保存する場所とファイル名を指定してください。
3. [名前を付けて保存]ダイアログの[保存(S)]ボタンをクリックしてください。

3.3.7 その他

本ソフトウェアの設定内容をファイルにエクスポート、またはエクスポートしたファイルをインポートします。

インポートまたはエクスポートされる設定内容は、プリンタードライバー設定情報(コントロールAフォント設定情報を含む)です。

「ユーティリティパネル」の[その他]を選択し、下記の画面を表示してください。

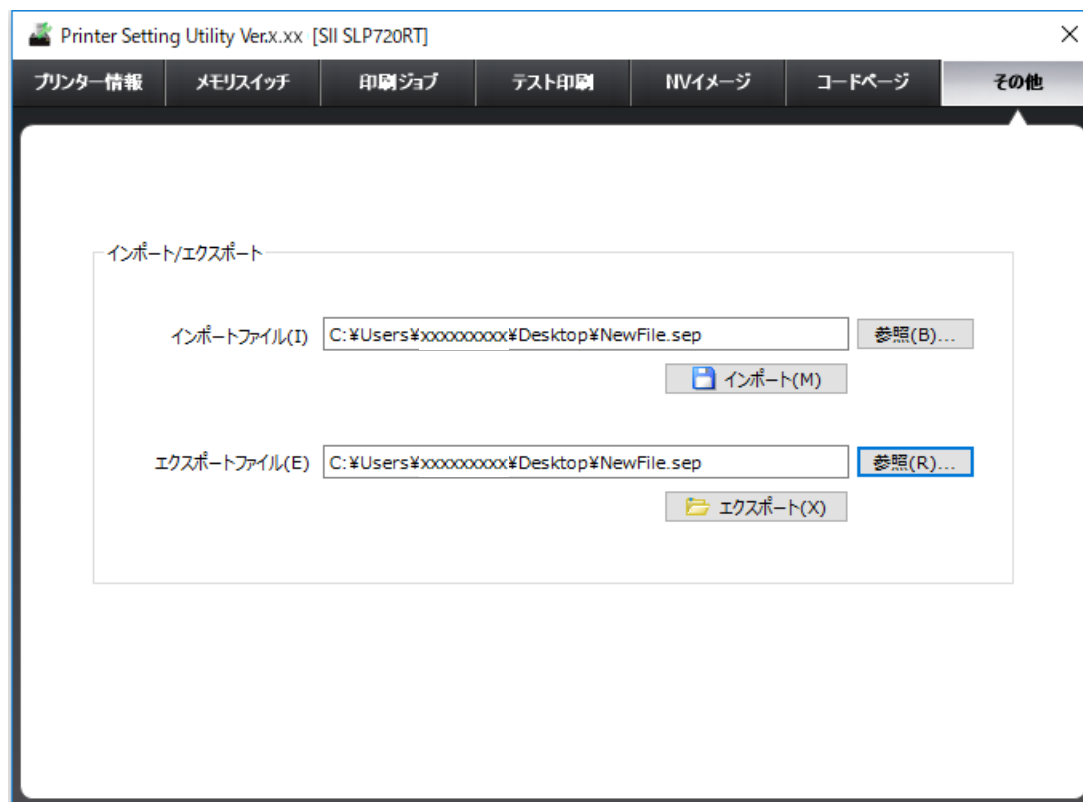


図 3-16 [その他]画面

項目	説明
インポートファイル(I)	保存したエクスポートファイル(*.sep)のファイル名を入力するか、または[インポートファイル(I)]の[参照(B)...]ボタンから[開く]ダイアログでインポートするファイルの保存先とファイル名を指定します。
参照(B)...	インポートするエクスポートファイルを、[開く]ダイアログから指定します。指定した内容は[インポートファイル(I)]に表示されます。
インポート(M)	[インポートファイル(I)]に指定されているファイルからプリンタードライバー設定情報(コントロールAフォント設定情報を含む)をインポートします。※ ¹
エクスポートファイル(E)	エクスポートファイルのファイル名を入力するか、または[エクスポートファイル(E)]の[参照(R)...]ボタンから[名前を付けて保存]ダイアログで保存先とファイル名を指定します。
参照(R)...	エクスポートファイルを保存する場所とファイル名を[名前を付けて保存]ダイアログから指定します。指定した内容は[エクスポートファイル(E)]に表示されます。
エクスポート(X)	[エクスポートファイル(E)]に指定されているファイルにプリンタードライバー設定情報(コントロールAフォント設定情報を含む)をエクスポートします。

※1: 異なる言語環境でエクスポートされたエクスポートファイルをインポートすることはできません。また、インポートファイルの[用紙サイズ]がカスタム用紙である場合は、反映されない場合があります。

設定のインポート

設定をインポートする手順について下記に説明します。

1. [インポートファイル(I)]の[参照(B)...]ボタンをクリックしてください。
2. [開く]ダイアログからインポートするファイルを選択してください。
3. [開く]ダイアログの[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
4. [インポート(M)]ボタンをクリックしてください。

設定のエクスポート

設定をエクスポートする手順について下記に説明します。

1. [エクスポートファイル]の[参照(R)...]ボタンをクリックしてください。
2. [名前を付けて保存]ダイアログでエクスポートファイルの保存先とファイル名を指定してください。
3. [名前を付けて保存]ダイアログの[保存(S)]ボタンをクリックしてください。
4. [エクスポート(X)]ボタンをクリックしてください。



セイコーインスツル株式会社

プリントシステム事業部

千葉県千葉市美浜区中瀬1-8 〒261-8507

電話番号: 043-211-1212（直通）ファクシミリ: 043-211-8037

ホームページ: <https://www.sii-ps.com>

大阪営業所

大阪府大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館 〒531-0072

電話番号: 06-6711-0858（直通）ファクシミリ: 06-6711-0856

©本書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。
